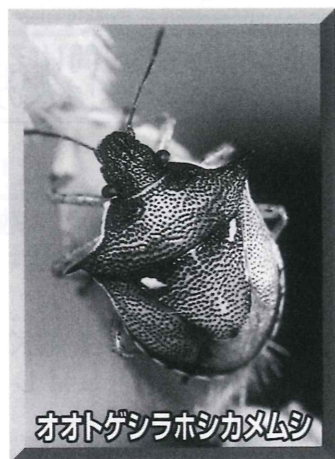


# 安全・良品質な丹波ひかみ米の病害虫防除はこれで決まり!

## 1. 生育ステージと病害虫防除作業 (5月20日植コシヒカリの場合)

田植3日前~当日	7月20日まで	7月30日頃	8月7日頃
紋枯病・いもち病・イネミズゾウムシ防除	畦の草刈り	出穂前防除	カメムシ類防除
育苗箱にまく事で、本田に発病・発生する病害虫を防除することが出来ます。出来るだけ田植当日にまいて下さい。	出穂2週間前までには、ほ場周辺の畦草を刈っておき、カメムシ・ウンカ類の巣を作らないことが大切です。(出穂期以降に行くと逆効果になります。)	出穂前に穂いもち病はもちろん、紋枯病・カメムシ・ウンカ類の防除が一度にできる総合殺虫殺菌剤を散布して下さい。(害虫防除は仕上げにもう一回します。)	品質低下の第一の要因はカメムシ類の被害粒です。必ず仕上げ防除を行きましょう。良品質米の決め手はカメムシ防除で決まり!

### ★斑点米の原因となるカメムシ



ほ場周辺の雑草は出穂2週間前までに刈りましょう。

## 2. 病害虫防除基準

●丹波ひかみ米コシヒカリ 水田用の除草剤および水田で使用する粒剤は、散布後7日間は落水やかけ流しをしないように注意事項が記載されています。農薬ラベルの注意事項を確認し、しっかり守りましょう。(10a当たり)

病害虫名	薬剤名	散布量	散布適期	薬剤の特長と散布上の注意	
基幹防除	いもち病、紋枯病、白葉枯病、イネミズゾウムシ、イネドロオイムシ、ウンカ類、ツマグロヨコバイ	ルーチンエキスパート箱粒剤	50g/1箱	は種時(覆土前)~移植当日	1. いもち病・紋枯病を防除。 2. 害虫もしっかり抑えます。
	いもち病、もみ枯細菌病、内穎褐変病、イネミズゾウムシ、イネドロオイムシ、フタオビコヤガ、ニカメイチュウ、イネツトムシ	ツインキック箱粒剤	50g/1箱	移植3日前~移植当日	1. いもち病・害虫にダブルの効果。 2. 水稻の病害抵抗性を誘導し、各種害虫に防除効果があります。 3. 優れた浸透移行性がもたらす長期予防効果。
いもち対策	いもち病	コラトップ1kg粒剤12	1~1.5kg	葉いもち初発10日前~初発時穂いもち出穂30日前~5日前まで	いもち病、とりわけ穂いもちに対して高い効果を発揮。有効成分が速やかに吸収。
基幹防除	いもち病・紋枯病・ウンカ類・カメムシ類・ごま葉枯病菌	ビームバシボン粉剤DL	4kg	出穂5日前~直前(収穫14日前まで)	いもち病はもちろん出穂前に必要な病害虫を一度に防除できる総合殺虫殺菌剤。
カメムシ対策	カメムシ類・ウンカ類	スタークル粒剤	3kg	出穂後7日頃(収穫7日前まで)	持続性に優れます。
		スタークル粉剤DL	3kg		速効性に優れます。
		スタークル豆つぶ	250g		「撒きやすい」豆つぶタイプ。拡散性に優れ、ほ場周辺への薬剤飛散抑制に効果絶大。
		スタークル液剤10	60~150ℓ(1000倍希釈液)		動力噴霧機での散布が可能です。

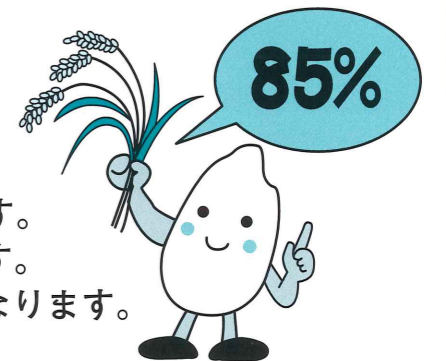
## ●特別栽培米たんば

水田用の除草剤および水田で使用する粒剤は、散布後7日間は落水やかけ流しをしないように注意事項が記載されています。農薬ラベルの注意事項を確認し、しっかり守りましょう。(10a当たり)

病害虫名	薬剤名	散布量	散布適期	薬剤の特長と散布上の注意
いもち病、もみ枯細菌病、内穎褐変病、イネミズゾウムシ、イネドロオイムシ、フタオビコヤガ、ニカメイチュウ、イネツトムシ	ツインキック箱粒剤	50g/1箱	移植3日前~移植当日	1. いもち病・害虫にダブルの効果。 2. 水稻の病害抵抗性を誘導し、各種害虫に防除効果があります。 3. 優れた浸透移行性がもたらす長期予防効果。
イナゴ類、イネヒメハモグリバエ			移植当日	
基幹防除	スタークル粒剤	3kg	出穂後7日頃(収穫7日前まで)	持続性に優れます。
	スタークル粉剤DL	3kg		速効性に優れます。
	スタークル豆つぶ	250g		「撒きやすい」豆つぶタイプ。拡散性に優れ、ほ場周辺への薬剤飛散抑制に効果絶大。
	スタークル液剤10	60~150ℓ(1000倍希釈液)		動力噴霧機での散布が可能です。

## 収穫期のめやす

コシヒカリの収穫期のめやすは穂揃い後、35日頃です。充実した籾数の85%程度が黄色くなった頃が適期です。収穫が遅れると、茶米や胴割米などが発生しやすくなります。



畦畔から2mほど入ったところの穂を基準に判断して下さい。(畦際は黄化がバラツキます)



茎部に緑色の籾が若干残っている程度

## ◎乾燥・調製・出荷

- ①仕上げ水分は14.5%を守って下さい!  
過乾燥米は胴割れを起こしやすく、流通業者から取引を敬遠されます。また、高水分米は商品としての価値が下がるため精算単価に影響します。
- ②量目は皆掛重量30.5kgに統一しましょう!  
JAへ出荷いただく米は丹波ひかみブランドとして販売いたしますので、丹波ひかみ米専用袋を使用し、荷造り、量目(皆掛重量30.5kg)はしっかりと確認してください。
- ③雑草の種子や石の混入がないようお願いします。

※JAのカントリーエレベーター・ライスセンター・籾荷受施設へ収穫された籾を持ち込んでいただきますと、乾燥・調製・袋詰・出荷等の手間が必要ありませんので省力化とコストダウンになり、大変便利です。